

3

岩手県社協への様々な支援、連携

(1) 全国社会福祉協議会からの職員派遣

① ブロック派遣

今回の東日本大震災では、被災地社協に対し、全国社会福祉協議会の主導により継続的に全国の広域ブロックを単位として社協職員の派遣、支援を受けました。

岩手県は次の表のとおり、関東ブロックB、東海・北陸ブロックから職員派遣が行われました。

ブロック	都道府県・政令指定都市名
関東ブロックB	神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市
東海・北陸ブロック	富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市

(出典:全社協 東日本大震災災害ボランティアセンター報告書より)

平成23年3月24日、ブロック派遣により岩手入りした職員と県内社協職員が県社協で打合せ会議を行い、翌日の25日から沿岸部各地で災害ボランティアセンターの運営支援、生活福祉資金貸付業務支援等にあたりました。

打合せ会議では、左のような文書を資料として提示し、既に現地入りしていた職員からの現状報告や、支援に際しての留意事項を確認しました。

平成23年3月24日
東北関東大震災に係る岩手県派遣職員の皆さまへ

このたびは、東北関東大震災被災地支援において、岩手県支援を御担当いただき、誠にありがとうございました。

長期化を予測しており、大勢の皆様の御支援を賜りますことを、心からお礼申し上げます。

1 派遣人員

概ね50人体制
北海道、青森県、秋田県、
関東ブロックB (神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、山梨県、
新潟県、新潟市、静岡県、静岡市、浜松市)
※ 長野県は、県内被災地支援
東海北陸ブロック 愛知県、名古屋市、三重県、岐阜県
福井県、石川県、富山県
※ 3月15日に開催された「東北地方太平洋沖地震に伴う災害ボランティア活動等に関するブロック幹事県・市社協会議」において確認した担当ブロックとの整合性に配慮しています。

2 派遣期間

平成23年3月24日～1カ月程度 ※ 変更あり

(移動日を含め原則1週間を1ケルとします。)

3 派遣先の被災地社協

別紙のとおり ※ 変更あり

4 岩手県社協の支援方針(派遣職員の業務)

- (1) 生活福祉資金の貸付け(当面、優先業務)
- (2) 災害ボランティアセンターの運営

※ 被災状況が異なるため、担当業務は一律ではありません。

5 寄宿先 別紙のとおり

※ 派遣先によって、宿泊環境が違いますので、寝袋等の防寒対策をお願いいたします。
※ 派遣先での食事の手配は、原則として御自身で御用意いただきます。

6 運営先 岩手県災害ボランティアセンター

〒020-0831 盛岡市三本柳8地割1番3 ふれあいランド岩手内
TEL 019-637-7594 田山
Fax 019-630-4255

皆様へのお願い事項

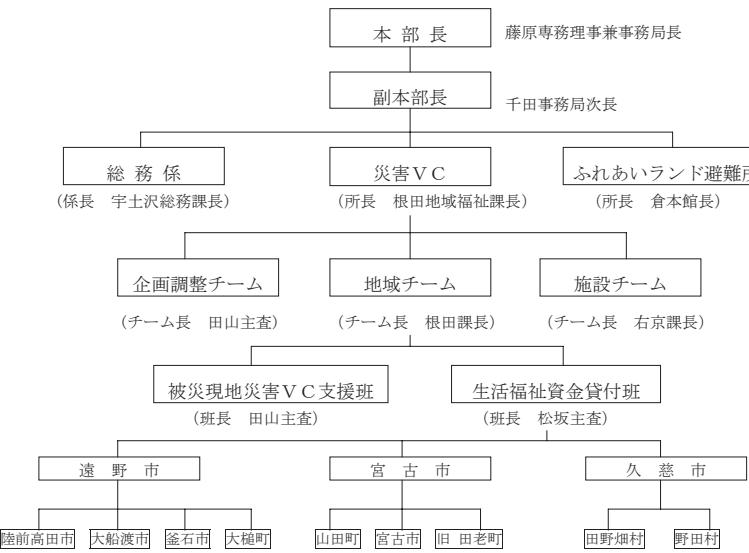
- 原則として、岩手県社協職員及び現地社協責任者の依頼に従って活動をしていただきます。
- 被災者・社協職員の希望と意欲を引き出す対応をお心がけいただきます。
- 被災地の人々の「心の奥底の痛み」を思いやり顧みます。
家庭や親族を失った人達が暮らしています。振り切る気持ちが「はしゃいだ対応」「過度の遠慮」にならないように気をつけてください。
- 「してあげる」「してもらおう」の関係ではなく、災害復旧に向けて「共に協力し希望を創る」精神で取り組み願います。
- 被災状況が異なるため、業務分担は、現時点では明確に出来ないことから、現地で二つの業務が混在しながらの対応にならざるを得ない状況を御理解願います。

県外派遣第1陣及び第2陣の私見

- このたびの大震災への対応は、新しい仕組みを創造するという発想が必要です。
- 社会福祉協議会ならしく、住民主体(地元主体)を基盤とする創造性・先駆性・柔軟性・開拓性を發揮した活動を開催します。
- 今回の災害においては、生活福祉資金の小口貸付業務の支援及び災害ボランティアセンターの運営支援(ボランティア派遣、被災者ニーズ把握等)をメインとしながら、高齢者、障害者等の要援護者支援に関する支援体制構築を視野に入れながら、試行的な取り組みを進めています。
- まず、現地入りしたら、組織体制を確認願います。(センター機能が立ち上がりっていない、立ち上がったばかりの被災地については体制を整えます。)
- 出来る限り、現地スタッフとの信頼関係を形成することを意識しながら、地元の意向と決裁権限を最大限に尊重して下さい。その中で「指示待ち君」ではなく、自分の役割を常に意識、確認し行動してください。
- 責任者に相談する時は、「自分の考え方・提案」を用意した上で、現地の方に何を立ててください。「こうするべきだ」「こうしなければならない」というような「べき論」は現地では担当スタッフの精神的負担につながる可能性があります。できるだけ、現地スタッフの気持ちに寄り添いながらお声掛けをお願いします。
- 記録は宝物です。しかし、更新及び共有化しなければ「がらくた」に過ぎません。逐一のメモと報告を怠ることなく、日々の業務終了後(もしくは翌日の朝まで)報告をあげる努力をお願いします。情報は岩手県災害VCへ一元管理していく方向です。

平成 23 年 3 月 21 日

岩手県社協災害対策本部組織図



2011.3.25 7時現在

東北関東大震災に係る人員派遣分担（3月25日～）

* 第1陣は3月24日15:00に岩手県社協入り（盛岡市）

* 0内は派遣人數見込

* 派遣期間 平成23年3月24日～1か月程度

* 1ケーブルは3ブロック担当県側で調整

（移動日を含め原則1週間、切れ目ない体制を構築）

* 支援方針 生活福祉資金の受け付け及び災害VCの運営

久慈ブロック		
	バックヤード	要支援地域
被災地社協	久慈市	久慈市 野田村 田野畑村
担当県	青森県(0)	富山県・石川県 (3) (4)

宮古ブロック		
	バックヤード	要支援地域
被災地社協	宮古市	宮古市 山田町
担当県	北海道 (2)	静岡県・北海道 (10) (2)兼務 ※暫定措置（状況次第で他県からの派遣検討）

遠野ブロック		
	バックヤード	要支援地域
被災地社協	遠野市	大槌町 大船渡市 釜石市 陸前高田市
担当県	秋田県 (1) 兼務	愛知県 (4) 神奈川県 (10) 新潟県 (3) 福井県 (0) 岐阜県(2) 名古屋(3)

岩手県社協災害対策本部

1 緊員体制 支援P(1)、静岡県(1)、東北北海道ブロック協力派遣 ※当初は秋田県社協(2)にて対応

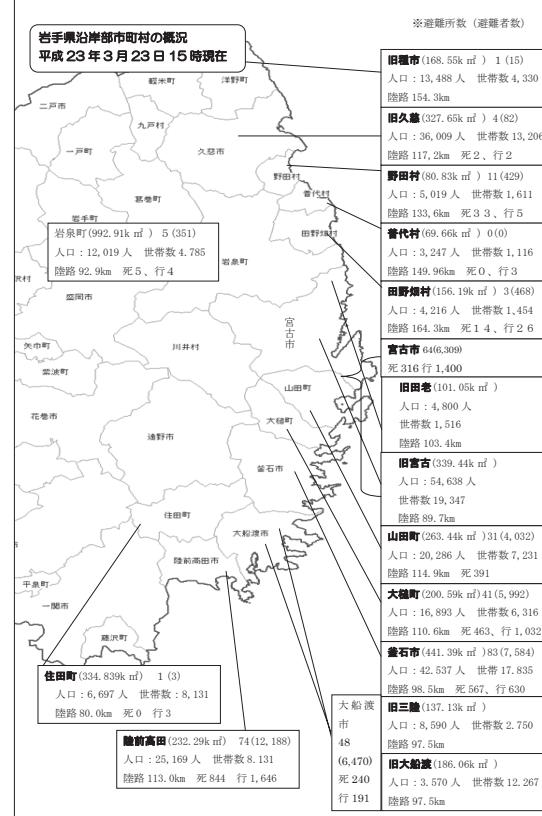
2 役割 ①岩手県社協業務の補助（緊急小口資金運営支援、市町村社協活動再建補助）

②岩手県社協との連絡調整

③バックヤード支援（久慈ブロック、宮古ブロック、遠野ブロック）

④支援Pとの連絡調整（必要に応じて全社協との調整）

⑤ブロック派遣の調整（オリエンテーション、情報収集・情報提供）



2011.3.22

東北関東大震災に係る人員派遣分担（3月25日～）

ローテーションのイメージ

1 第3陣は3月24日15:00に岩手県社協入り（盛岡市）
 2 派遣期間 平成23年3月24日～1か月程度
 3 岩手県社協の支援方針
 生活福祉資金の貸付け及び災害VCの運営
 ※ 被災状況が異なるため、業務分担は、現時点では明確に出来ないことから、現地で二つ
 の業務が混在しながらの対応にならざるを得ない状況です。
 4 1クールは3ブロック（八戸ブロック、宮古ブロック、遠野ブロック）**担当県間で調整**
 （移動日を含め原則1週間、切れ目ない体制を構築）
 5 ローテーションのイメージ

(1) 例1

	※ 括弧内は派遣人数								
	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1
○○県	3階 ①				4階 ②			5階 ③	
○○県	3階 ④				4階 ⑤			5階 ⑥	

第3陣は、3/24に盛岡入⇒3/25担当地域に移動⇒3/28amまで活動(3/28amに第4陣へ引継ぎ)
 第4陣は、3/27中に宿泊拠点入⇒3/28～4/1まで活動(4/1amに第5陣へ引継ぎ)

(2) 例2

	※ 括弧内は派遣人数								
	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1
○○県	3階 ①				4階 ②			5階 ③	
○○県					4階 ④			5階 ⑤	

第3陣は、3/24に盛岡入⇒3/25担当地域に移動⇒3/28amまで活動(3/28amに第4陣へ引継ぎ)
 第4陣は、3/27中に宿泊拠点入⇒3/28～4/1まで活動(4/1amに第5陣へ引継ぎ)

(3) 例3

	※ 括弧内は派遣人数										
	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3
○○県	3階 ①					4階 ②			5階 ③		
○○県	3階 ④				4階 ⑤			5階 ⑥			

第3陣は、3/24に盛岡入⇒3/25担当地域に移動⇒3/29amまで活動(3/29amに第4陣へ引継ぎ)
 第4陣は、3/28中に宿泊拠点入⇒3/29～4/3まで活動(4/3amに第5陣へ引継ぎ)

道・県社協からの支援(平成23年3月24日～8月31日)

道・県名・ブロック名	派遣人数（延べ）
北海道社協	993人
青森県社協	512人
秋田県社協	696人
関東ブロックB	5,451人
東海北陸ブロック	4,443人
計	12,095人日(人数×日数)

沿岸7市町村及び県社協本部における派遣元道県状況

沿岸7市町村	派遣元道県
野田村	石川県・富山県・青森県
宮古市・山田町	静岡県・石川県・富山県・長野県・北海道
大槌町	三重県・岐阜県・愛知県・長野県
釜石市	神奈川県・山梨県
大船渡市	秋田県・愛知県
陸前高田市	新潟県・福井県・石川県・富山県・千葉県・青森県
県社協本部	秋田県・新潟県・静岡県

ブロック派遣は平成23年8月31日まで継続され、その後は派遣先の社協との個別協議で、支援期間が延長されたケースも見受けられました。

ブロック派遣の社協職員は、派遣期間終了後も沿岸



[3月24日 ブロック派遣者との打合せ会議の様子]

② ブロック派遣職員数

ブロック派遣により岩手県内沿岸部で支援を行った職員数は次のとおりです。

市町村を再訪し、個人ボランティアとして活動したり、自分の市町村の住民、ボランティア団体とともにボラバスで支援のために訪問するなど、現在でも交流が続いています。

また、派遣元の市町村社協でも、震災を契機に非常時の連絡体制や行動マニュアルの作成・見直し、ボランティア団体との連携強化など、経験を活かした取組みが進められています。

(2) 災害ボランティア活動支援プロジェクト 会議からの支援

(全社協 東日本大震災災害ボランティアセンター報告書より抜粋)

① 組織概要

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（以下：支援P）は企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されるネットワーク組織で、2004年の新潟中越地震の後、2005年1月より中央共同募金会に設置されました。

平常時には、災害支援に関わる調査・研究、人材育成や啓発活動を行い、災害時には多様な機関・組織、関係者などが協働・協力して被災者支援にあたっており、東日本大震災においても、ネットワークを最大限生かして、災害VCの運営支援、企業と連携した資機材支援、ボランティアバスの運行、災害ボランティアセンターの検証などを行っています。

② 支援内容

平成23年3月12日に幹事会が実施され、宮城県を皮切りに被災地支援が開始されました。

これまで全社協で実施している「災害VC・コーディネーター研修」及び「災害ボランティアセンター運営支援者研修」の受講者を運営支援者として派遣していましたが、東北3県の被害は広域で、災害ボランティアセンター数も多く、継続的な支援が必要であることから、従来の受講者に加えて、「日本ボランティアコーディネーター協会(JVCA)」「国際協力NGOセンター(JANIC)」「日本YWCA」「日本生活協同組合連合会」からも運営支援者を派遣しました。

運営支援者の役割は、災害VCの運営・体制づくり、行政・NPO等との連携調整、復興・生活支援に向けた運営の方向性検討、社協経営の見直し・検討など多岐に渡りました。また、県ごとに総括担当者を置き、県全体での状況把握、県社協との調整、各地の状況把握をするための巡回などを行いました。

(3) 県内各地でボランティアセンターの運営 に支援・協力頂いた企業・団体

今回の震災による支援活動では、災害VCの運営や物資・備品等について、県内外の企業・団体から多くの支援・協力を頂きました。

それぞれの得意分野を活かして活動頂いたことで、ボランティア活動ニーズへの早期対応につながった他、情報発信など新たなノウハウを得ることができました。以下に、そのうちの一部を紹介します。（表次頁）

静岡県社会福祉協議会
主事 相原 正典



東日本大震災から2年が経過した今なお、多くの方が仮設住宅等で生活されていることを耳にするたびに、改めて被害の大きさを実感しています。

静岡県内社協は、発災後、約半年間、岩手県宮古市及び山田町社協に支援に入り、地元社協とともに復旧・復興への取組みに関わらせていただきました。

今回の職員派遣で今でも印象に残っていることは、最初に支援に入った時の発災後から休みなく懸命に地域住民への支援を行う地元社協の姿とその疲弊した顔でした。

そんな中で、県外から来た私達が今、何ができるのか、本当に求められている役割は何か、ただ業務の支援を行うだけよいのか、悩んだことでした。

また、毎月、支援に入り、多くの支援者や地域の方達と出会い、関わる中で実感したことは、「復興」は、様々な人の力や想い、つながりの中から創られ、少しづつ、確かに復興へ向けて進んでいるということでした。

最後に被災された方々の生活や心の「復興(幸)」が少しでも早く進みますことを願いますとともに、これからも静岡から応援、支援を続けていきたいと思います。

岩手県沿岸7市町村及び県社協VCにおける企業・団体からの支援

(注)支援Pによる支援及び金銭的支援を除く

支援区分	企業・団体名	具体的な支援の内容
人的・物的支援	連合岩手	ボランティア活動・活動工具の寄贈・ボランティアセンター運営支援等
	社団法人盛岡青年会議所	ボランティアセンター立上げ・運営支援・備品等の提供・資機材貸与
人的支援	NPO 法人遠野まごころネット	協力団体
	NPO 法人 いわて GINGA-NET	ボランティアセンター運営支援等
	JR 東日本労働組合	ボランティアセンター運営支援等
	NEXCO 東日本	ボランティアセンター運営支援等
	NPO 法人 hands	ボランティアセンター運営支援等
	いっぽいっぽ	ボランティアセンター運営支援等
	岩手県立釜石商工高等学校野球部	ボランティアセンター運営支援等
	いわて生活協同組合	ボランティアセンター運営支援等・被災者支援
	株式会社 H.F.T	ボランティアセンター運営支援等
	株式会社共立精工	ボランティアセンター運営支援等
	釜石市青年会議所	ボランティアセンター運営支援等
	カリタス釜石	ボランティアセンター運営支援等
	北上市立大平中学校	ボランティアセンター運営支援等
	サンポット株式会社	ボランティアセンター運営支援等
	曹洞宗青年会	ボランティアセンター運営支援等
	チーム 023	ボランティアセンター運営支援等
	チームケア	ボランティアセンター運営支援等
	天理教ひのきしん隊	ボランティアセンター運営支援等
	ネオス株式会社	ボランティアセンター運営支援等
	ハートフル遠野	ボランティアセンター運営支援等
	ヤマト運輸株式会社	ボランティアセンター運営支援等
	一般社団法人日本経済団体連合会	ボランティアセンター運営支援等
	立正佼成会	ボランティアセンター運営支援等
	釧路ネット	ボランティアセンター運営支援等
	盛岡地区広域消防組合消防本部	ボランティアセンター運営支援等
	北上市立北上北中学校	ボランティアセンター運営支援等
	青森県立保健大学	サロン活動支援
	いわて教会ネットワーク	サロン活動支援
	北上さをりひろば	さをり材料、機材の提供
	きらら	輪っかあみ材料提供
	チーム北リアス	仮設住宅・みなしふ設への訪問、イベント開催など
	特定非営利活動法人岩手県レクリエーション協会	サロン活動支援
	日本バプテスト連盟	サロン活動支援
	地域コーディネートセンターみやこ (宮古災害復興支援活動チーム M.A.D.)	ボランティアセンター運営支援
	SMBC コンシューマーファイナンス株式会社 盛岡お客様サービスプラザ	ボランティアセンター運営支援
	あすからのくらし相談室	被災者支援
	岩手県立大学宮古短期大学部 JRC	ボランティア活動
	岩手県臨床心理士会	被災者支援
	男のエプロンクラブ	被災者支援
	学校法人立命館大学	ボランティア活動
	グラクソ・スミスクライン株式会社	災害ボランティアセンター運営支援
	傾聴ボランティア・えがお	被災者支援
	札幌カリタス	被災者支援
	日本赤十字社岩手県支部	被災者支援

支援区分	企業・団体名	具体的な支援の内容
人的支援	ほとほっと	被災者支援
	みなとや薬局	被災者支援
	NPO 法人 ANGEL WINGS	ボランティア活動運営スタッフ派遣
	NPO 法人 Local Community	ボランティアセンター運営支援
	NPO 法人国境なき奉仕団(BRA)	ボランティアセンター運営支援
	NPO 法人シーズ加古川	ボランティアセンター運営支援
	公益財団法人シャンティ国際ボランティアの会	ボランティア活動運営スタッフ派遣
	国際開発救援財団 FIDR	ボランティア調整
	みえ災害ボランティア支援センター	ボランティアセンター運営支援
	カリタスジャパン	サロン活動支援
	石川県白山市	ボランティアセンター運営・活動支援
	岩手県立大学 VC	ボランティアセンター運営・活動支援
	岩手大学 VC	ボランティアセンター運営・活動支援
	沖縄青年会議所	ボランティアセンター運営・活動支援
	神奈川金太郎ハウス	ボランティアセンター運営・活動支援
	千葉トヨペット	ボランティアセンター運営・活動支援
	日本教職員組合	ボランティアセンター運営・活動支援
	日本自治体労働組合総連合	ボランティアセンター運営・活動支援
	日本労働組合総連合会	ボランティアセンター運営・活動支援
	認定 NPO 法人難民支援協会	ボランティアセンター運営・活動支援
	復興応援センター	ボランティアセンター運営・活動支援
物的支援	24 時間テレビ	テント等資機材の寄贈
	川崎重工業株式会社	被災地支援のための車両
	全日本自動車産業労働組合総連合会	被災地支援のための車両
	ChildFundJapan	活動工具の寄贈
	SVTS【風組】	活動工具の寄贈
	愛知県保険医協会	車の寄贈
	全国労働組合総連合(全労連)	車、自転車の寄贈
	株式会社ブリヂストン	自転車の寄贈
	日本赤十字社	センター備品の寄贈・抱っこひも等の寄贈
	岩手トヨタ販売	車の寄贈(軽トラック)
	株式会社アイシーエス	ノートパソコンの寄贈(仮設集会所)
	カワサキモータースジャパン	バイクの寄贈
	富士フィルム	写真洗浄キットの提供
	本田技研工業株式会社	バイクの寄贈
	NPO 法人いせコンビニネット	備品等の提供
	NPO 法人国境なき奉仕団(BRA)	備品等の提供
	国際 NGO グッドネーバーズ・ジャパン	資器材貸与
	アイシン精機株式会社	備品の寄贈
	一般社団法人 SAVE TAKATA	被災地支援のための車両
	ケア・インターナショナル・ジャパン	備品等提供
	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン	備品等提供
	被災地支援チーム SAVE IWATE	備品等提供
	大屋勇造弁護士事務所	ミネラルウォーターの寄贈
その他	NPO 法人かものはしプロジェクト	災害ボランティアセンターホームページ開設支援
	岩手三菱ふそう自動車販売株式会社	被災地支援活動資金